

岩倉具視 いわたら 公卿、政治家。文政八年九月十五自京都生れ、明治

十二年七月二十自歿（二五—八三）。幼名周丸。號友山、對岳、幻々子、

華龍、とと視、源具視等。權中納言堀河康親の次男、岩倉具慶いわたらの養嗣

子。安政五年 孝明（大皇）の侍從、文久二年辭官奉還、維新後は新政

府の柱石となる。明治四年特命全權大使として歐米視察。没後贈大政

大臣、贈正一位、國葬。

著書『都氣能雄入志』（幻々子名、撰、柴田昌長校、明治十八年五月

十八日板權免許・碧山書室藏、吉川半七發賣）、『岩倉贈大政大臣集』

（岩倉具慶編、昭和四十二年四月二十日明治百年祭進備委員會）等。

文獻、芝上屋敷之介訂正『從一位大勳位 岩倉具視公 誠忠義傳』（明治十六年七月一

十九日攝陽堂）、雜賀豐太郎編『勳績 岩倉具視公之實傳』（明治十七

年七月金松堂）、『精神錄』（明治二十九年十一月二日莊司方苞跋、

無刊記。「岩倉神社由緒之記」「岩倉贈大政大臣傳附刺歌」所收）、

『武團 岩倉具慶保存會要誌』（昭和五年二月二十五日京都・岩倉公

舊蹟保存會）、『岩倉公五十年祭奠詩』（昭和八年七月十日京都・岩

倉公舊蹟保存會）、『岩倉公五十年祭歌詠』（昭和八年十一月二十日

大久保利武編刊）、『岩倉公五十年祭記要』附本會要誌第一篇』（昭

和八年十一月二十八日京都・岩倉公舊蹟保存會）、徳富南猪一郎著『對

岳公進植講演集』（昭和十四年二月十一日京都・岩倉公舊蹟保存會）、

高橋喜太郎編『内閣文庫所藏 岩倉具視關係文書目錄』（昭和四十二年二月内

閣文庫）、大久保利謙著『岩倉具視—維新前夜の群像—』（昭和四十

八年九月二十五日中央公論社「中公新書」）等。